

★ 謹 賀 新 年 ★

日本全国の皆様

あけましておめでとうございます!!! 昨年は色々ありがとうございました。昨年私共ケアコンシェルジェがお邪魔させて頂いた病院・施設様は日本全国 400 箇所以上になりました。色々な出会いがあり、勉強させられた出来事・心に残る出来事もたくさんありました。行く先々でとても暖かいお言葉・お心遣いを頂き、本当にありがとうございました。今年はどうな出会いがあり、どんなビッグイベントが待っているのか...とても楽しみです。

切磋琢磨

皆様もう今年の抱負は心に決まっていますか?

私の今年の抱負は『切磋琢磨』です。大辞林によると、学問をし、徳を高めるために、努力に

努力を重ねること。また、友人どうし励まし合い競い合って向上すること。「互いに切磋琢磨して技能を成し遂げる」とあります。日本全国の看護・介護に携わる皆さんが共に励ましあって向上していけるようなネットワークをこの仕事を通して広げていけるように一生懸命取り組んでいきたいというのが一番の目標であり、抱負です。そしてもちろん私も皆様と共に切磋琢磨して、自分をもっともっと磨いていきたいです。

光洋社員一同より

昨年は格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございました。

皆様から頂いた様々なご意見・ご声をひとつひとつ改善し、皆様方に選ばれる会社となりますよう私も精一杯努力してまいりますので、本年も引き続きましてご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

今月の人

大阪支店 梶谷 健吾 君

自己PR : 兵庫を担当しています。去年までは愛媛県・高知県も担当していました。

この仕事をしていて一番嬉しかったこと:

どのメーカーの紙パンツを使用しても忘れてしまう利用者様がオンリーワンパンツを使用したらもれなくなり、利用者様も介護士の方も非常に喜んでいただくと聞きしたとき。

光洋大阪支店はどんなところですか:

紙おむつの営業と病院売店の営業と同じフロアで働いており、お互い協力しながらチームワークよく働いています。

光洋製品を使ってきている看護師・介護士の皆様へ一言:

オンリーワンパンツはとても良い商品です!! 一度使用してみてください。今使用している紙パンツとの違いがわかります!!



デンマークの介護セミナーで、おむつの装着モデルをしている時の写真。中央が梶谷君です。光洋イケメン営業マンの一人です!!

あけましておめでとうございます!!

株式会社 光洋 社員一同

★★神奈川県三浦市・城ヶ島海岸からの初日の出です!!★★

最近ネットパンツが大流行

通気性100%

おむつのムシを最小限にしたい。

コスト削減を図りたい。

もれないパンツがほしい。

そんな要望にぴったり合うパンツ

オンリーワンメッシュホルダーが最近

介護現場でわか大流行しています。リハビリパンツや紙おむつからのメッシュホルダーに替えられた老健さんからは、「ゴミの量が半分減った」というご感想をいただきました。『環境にも優しい排泄ケア』と言うわけです!

洗って使えて経済的

このオンリーワンメッシュホルダーは伸縮性のある織り糸と独自のニット構造により抜群の通気性が得られ、大きなパッドでもしっかりと保持することができます。しかも洗って使えるタイプなのでとっても経済的です! ネットに入れて洗えば30回位繰り返し洗って使用できます。乾燥機にかけず日干しで乾かしてください。

★ Sサイズ 60~90cm

★ Mサイズ 70~100cm

★ Lサイズ 80~110cm

いずれも1パック5枚入りです。

★★お問い合わせ・サンプルのご注文等は下記まで!!★★

045-701-2210 (営業本部 梅田まで)



オンリーワンメッシュホルダー: 装着方法



まずパッドを縦折にします。自分の腿に押し当てるようにして線をつけるのがコツです。



パッドを前から後ろに入れます。
*後ろからパッドを入れると肛門部に付着した大腸菌などが陰部に回り、逆行性感染を起こすことがあります。



1 後ろのパッドを横に拡げ腿で押さえます。
2 次に前を横に拡げます。
*股部に少しふくらみを作るのが大事!



パンツを後ろから上げて、前を上げます。パッドをイチヨウの葉のように拡げたら完了です。

*パッドは専用のオンリーワンパッドをお使いいただくことをお勧めします。

快護アンパスト講座

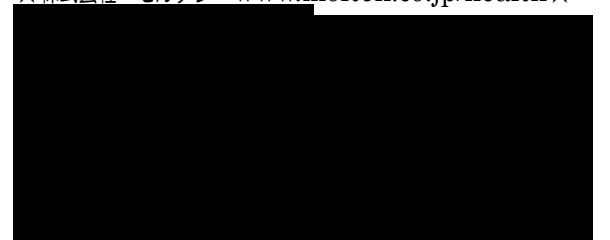
イーザーモーション・パティⅡ

車椅子からベッドへ・ベッドから車椅子へ...、移乗の際の事故は高齢者の身近で起きる事故原因でもっとも多い事故の一つです。高齢者は筋力や視力などの身体機能が低下するためちょっとした行動が思わぬ事故につながるようになります。特に高齢になると若い人に比べ骨折しやすく、怪我をきっかけに寝たきりになってしまうことも少なくありません。事故を防ぐために大切なことは環境を整えること。つかまり立ちの出来る人ならしっかりと固定した手すりや台を使えば比較的スムーズに移乗できます。取り付けタイプで高さの調節できる離床支援手すり(下左図:パティⅡ)などを活用すればベッドからだけでなく布団やコタツなどからの立ち座り動作もサポートできます。

また、自力での移乗が困難の方には安全でスムーズな移乗を支援するスライディングボード(下右図:イーザーモーション)を活用すると便利です。

今回ご紹介させていただいた2つの商品は株式会社モルテンさんの商品です。どちらも介護保険費対象品ですので経済的です。

★株式会社 モルテン www.molten.co.jp/health★



パティⅡ

イーザーモーション

「私らしく…をモットーに」 静岡 豊田一空園様



新たなる試み

眼の前に広がる緑まぶしいお茶畑、東には雄大に聳える富士山を仰ぎ見る…。
磐田原台地、田園地帯の一角に建つ、ここ豊田一空園は全50床（併設ショートステイ10床）の静岡で美しい特別養護老人ホーム。こちらの施設で新たな取り組みとして6年前より進めてきた排泄ケア、『紙パンツから布の下着へ』の取り組みについて取材させていただき、12月18日から2日間にわたり現場にお邪魔させていただきました。

きっかけは101歳のSさん

Sさんは88歳で入所され、紙パンツを使用することなく綿の下着で現在も杖歩行にてトイレに行っています。紙パンツを勧めたこともありましたがご本人の意思で綿の下着を使い続けているそうです。

そして、このことが職員なかで大きなきっかけとなりました。

入所者の方々にとって、その人らしく過ごすこと。それが真の思いであることに、皆気付かされたのです。

「私」らしく…。 長い挑戦が始まりました。

まずやってみよう

…というのが始まり。

まず基本ケア委員会というものを作りました。排泄・入浴・移乗など、それぞれの分野において、改善していきたい議題を最初に委員会で考えます。そしてその議題について、月に一度のケアワーカー会議で皆で意見を出し合い、話し合います。例えば「排泄」について。Sさんを見習った排泄ケアをして行こうと言う議題。「パンツでもおむつでもトイレ誘導を始めて行こう」から始めて、

「紙ではなく布パンツでパッド併用のケアをして行こう」など、段階を踏んでスムーズに移行できるようなシステムを作り、チャレンジして行こうと言う事で決まりました。各ご利用者様の担当者は、どのようにしてトイレ誘導まで進めていくべきかなどをPTやNSに相談し、それぞれのご利用者様にとって一番合った方法を考え、皆に伝えます。複雑だった排泄チェック表をシンプルにすることで誰が見てもすぐにご利用者様の排泄状況がわかるようにし、記入漏れも徹底してなくなりました。今ではその表を基にNSが少しずつ薬剤コントロールをすることで、下痢便や水様便で苦労することがなくなったそうです。

「委員会だけで決めてしまってスタートしてもスムーズには行きません。何事も皆で決めていくことが大事。皆で話し合っやり始めたことには皆ちゃんと責任を持って取り組んでくれます。」施設課長の國枝さんはいいます。

いま豊田一空園さんでは、紙のパンツを使用している方は一人もいません。平均介護度は6年前3.6だったのに比べ現在4.1にあがっているのに、です。スキントラブルがなくなり、紙おむつの在庫管理がなくなり、コスト削減につながりました。そしてなにより、入所者の方々の表情が明るくなりました。

今後の課題

「入所者の尊厳と快適性を追及した排泄ケアに取り組む事で今まで以上に入所者の方と深く関わる事が出来ましたしスタッフ同士のコミュニケーションの輪も広がりました。今後の課題としては排泄ケアを通じて、もっと排泄ケア以外の個別ケアにつなげて行くことです。」

1つ良い方向に廻り始めると、様々なことが同じ方向に廻り始めて行くんですね。豊田一空園の皆様ご協力本当にありがとうございました。また、良いお手本を私たちに教えて下さい！



★★施設課長の國枝さん。笑顔で取材に答えてくれました★★



お昼の準備

ほとんどのご利用者様が食堂に集まります。皆さんお食事を楽しみにしているみたい、ニコニコ顔です。

アットホームな雰囲気伝わってきますネ。

今日の献立発表

今日の昼食は…とマイクを使って発表。

献立はわかめごはん・有頭えびのホワイトソース、野菜の炊き合わせ・卵豆腐・べったら漬け・澄まし汁、なんと計6品の豪華メニュー！！

彩り・盛り合わせ方もきれいでとてもおいしそう！おかずのバリエーションや彩りには特に力を入れているのだそうです。これなら食事も進みますよネ☆



ご利用者さんと楽しくおしゃべりの最中の鈴木ケアワーカー副主任にも色々お話を聞かせていただきました。

**豊田一空園の皆様
取材のご協力ありがとうございました！**



私が取材に訪れた日は時期的にクリスマスの飾り付けがところどころに取り付けられ、施設内は明るさを増していました。「きれいですねえ」と言うと、國枝さんは中庭の花壇のお話をしてくれました。

何でも施設の皆さんで手入れをされていて、季節ごとに色々植え替え、園芸を楽しんでいるのだとか。車椅子の方でも植え付けが出来るよう、花壇の高さにもこだわったのだそうです。

今はちょうどクリスマスやお正月にかけての花壇を作る準備をしている最中で、花壇には新しく敷いた土のみのまっさらの状態でした。あと少し遅く来ていれば美しい花壇も写真に撮らせてもらえたのに…と言うと今年の春に皆さんで作った花壇の写真をを見せてくれました。それがあまりにもきれいだったのでぜひ掲載させて欲しいとお願いし、わざわざパソコンに送っていただきました。

それが下の写真です。いかがですか？とってもきれいでしょ！！

皆さんおいしくいただいています



お食事は施設長自ら介助

この施設は介護職員だけでなく、全員でご利用者様の介助にあたるんです。だから施設長も毎日こうして食事介助に入っているんですよ。とワーカーさんが笑って教えてくださいました。ピアノの横の席が施設長の定位置だそうです。

